

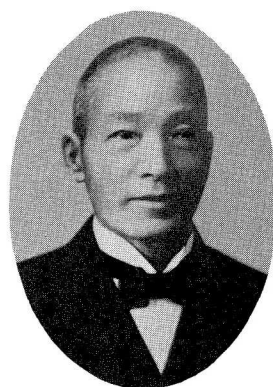
土 木 学 会

歴 代 会 長

大正 3 年～昭和50年



第 1 代
故 工学博士 古市公威 君



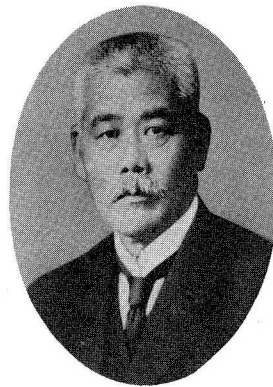
第 2 代
故 工学博士 沖野忠雄 君



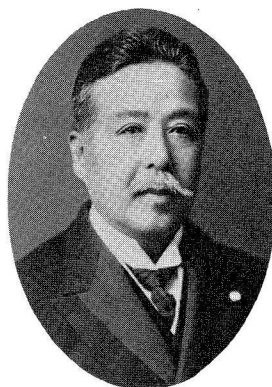
第 3 代
故 工学博士 野村龍太郎 君



第 4 代
故 工学博士 石黒五十二 君



第 5 代
故 工学博士 白石直治 君



第 6 代
故 工学博士 広井勇 君



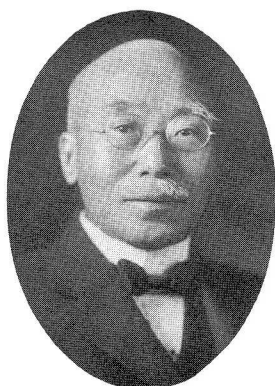
第 7 代
故 工学博士 仙石貢 君



第 8 代
故 工学博士 原田貞介 君



第 9 代
故 工学博士 古川阪次郎 君



第 10 代
故 工学博士 中原貞三郎 君



第 11 代
故 工学博士 中山秀三郎 君



第 12 代
故 工学博士 中島 鋭 治 君



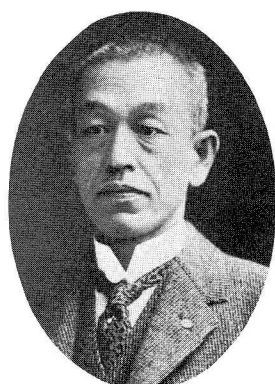
第 13 代
故 工学博士 日下部辨二郎 君



第 14 代
故 工学博士 吉村 長 策 君



第 15 代
故 工学博士 市瀬恭次郎 君



第 16 代
故 工学博士 岡 野 昇 君



第 17 代
故 工学博士 田 辺 朔 郎 君



第 18 代
故 工学博士 中川 吉造 君



第 19 代
故 工学博士 那波 光雄 君



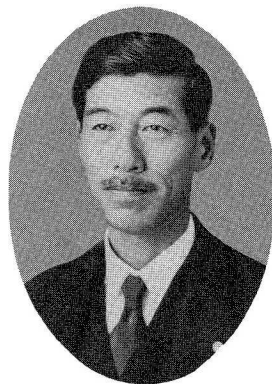
第 20 代
故 工学博士 名井 九介 君



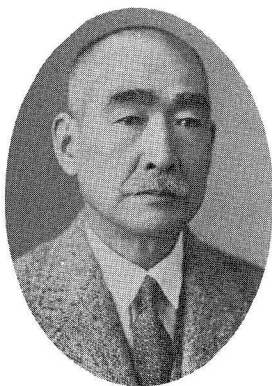
第 21 代
故 工学博士 真田 秀吉 君



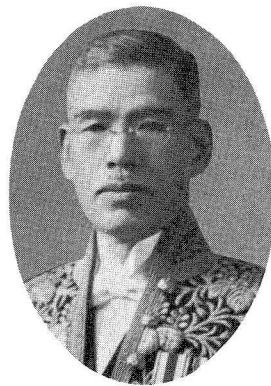
第 22 代
故 工学博士 久保田敬一 君



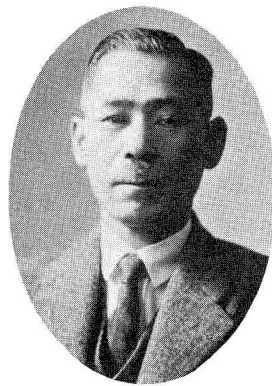
第 23 代
故 工学士 青山 士 君



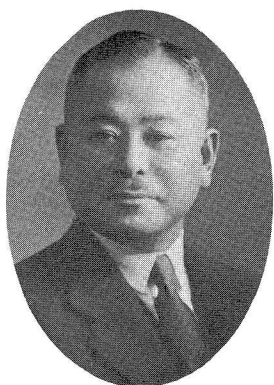
第 24 代
故 工学士 井上 秀二 君



第 25 代
故 工学博士 大河戸宗治 君



第 26 代
故 工学士 辰馬 鎌蔵 君



第 27 代
故 工学士 八田嘉明君



第 28 代
故 工学士 中村謙一君



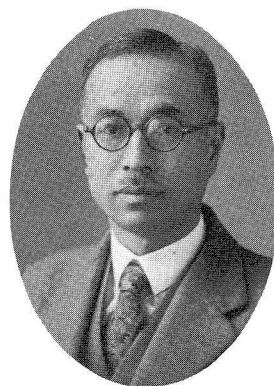
第 29 代
故 工学士 谷口三郎君



第 30 代
故 工学博士 草間偉君



第 31 代
故 工学博士 黒河内四郎君



第 32 代
工学博士 鈴木雅次君



第 33 代
故 工学博士 田中豊君



第 34 代
故 工学士 鹿島精一君



第 35 代
工学博士 岡田信次君



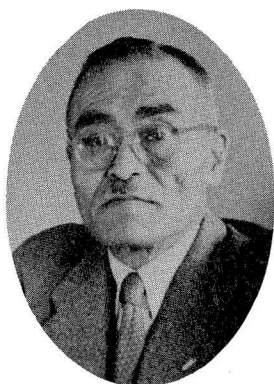
第 36 代
故 工 学 士 岩 沢 忠 恭 君



第 37 代
故 工 学 博 士 吉 田 徳 次 郎 君



第 38 代
故 工 学 士 三 浦 義 男 君



第 39 代
故 工 学 博 士 大 西 英 一 君



第 40 代
工 学 士 稲 浦 鹿 蔵 君



第 41 代
故 工 学 博 士 平 井 喜 久 松 君



第 42 代
工 学 博 士 青 木 楠 男 君



第 43 代
工 学 士 菊 池 明 君



第 44 代
故 工 学 士 平 山 復 二 郎 君



第 45 代
工学博士 内海 清温 君



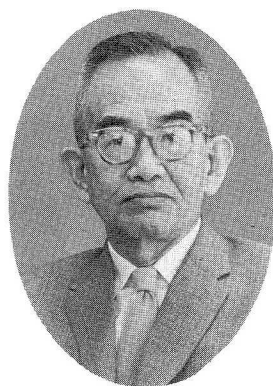
第 46 代
工学博士 米田 正文 君



第 47 代
工学博士 田中 茂美 君



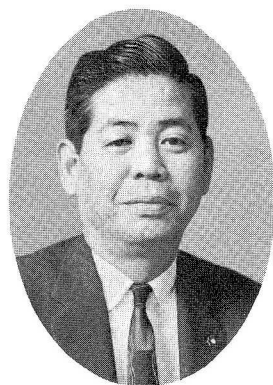
第 48 代
工学博士 沼田 政矩 君



第 49 代
工学博士 永田 年君



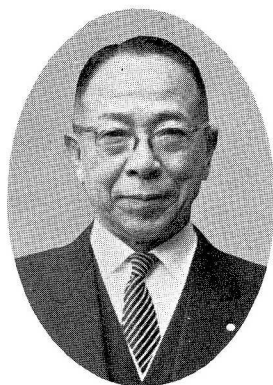
第 50 代
工学博士 藤井松太郎 君



第 51 代
工 学 士 山本 三郎 君



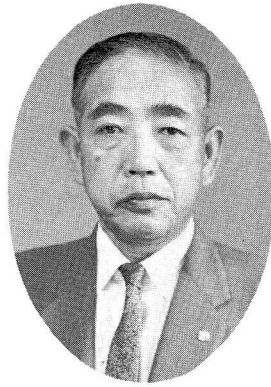
第 52 代
工学博士 福田 武雄 君



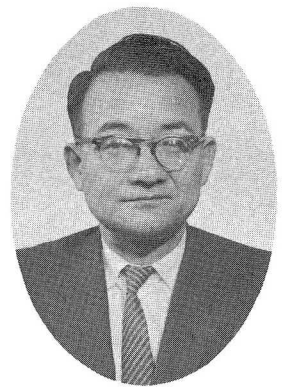
第 53 代
工学博士 岡部 三郎 君



第 54 代
工学博士 篠原 武司 君



第 55 代
工 学 士 富 桎 凱一 君



第 56 代
工学博士 石原藤次郎 君



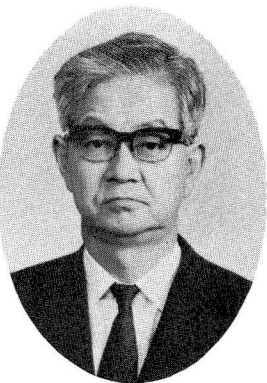
第 57 代
工 学 士 柳 沢 米 吉 君



第 58 代
工学博士 大石 重成 君



第 59 代
工 学 士 高 野 務 君



第 60 代
工学博士 岡 本 舜 三 君



第 61 代
故 工 学 士 飯 田 房 太 郎 君



第 62 代
工学博士 瀧 山 養 君

土 木 学 会
功績賞受賞者



昭和40年度
工学博士 内海 清温 君



昭和40年度
工学博士 鈴木 雅次 君



昭和41年度
故 工 学 士 田淵 寿郎 君



昭和41年度
工学博士 青木 楠男 君



昭和42年度
故 工学博士 草間 偉 君



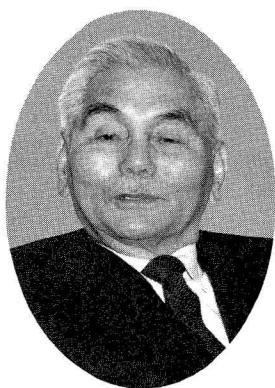
昭和42年度
工学博士 沼田 政矩 君



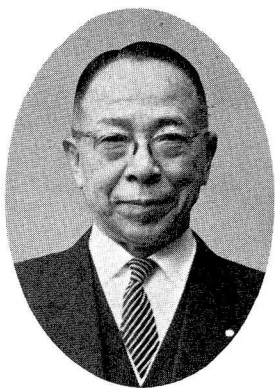
昭和43年度
故 工学博士 原口忠次郎 君



昭和43年度
工学博士 永 田 年 君



昭和44年度
工学博士 久保田 豊 君



昭和44年度
工学博士 岡部 三郎 君



昭和45年度
工学博士 鯨 島 茂 君



昭和45年度
工学博士 岡田 信次 君



昭和46年度
工 学 士 稲 浦 鹿 蔵 君



昭和46年度
工学博士 田中 茂美 君



昭和47年度
工 学 士 富 樫 凱一 君



昭和47年度
工学博士 福田 武雄 君



昭和48年度
工学博士 藤井松太郎 君



昭和48年度

工学博士 石原藤次郎 君



昭和49年度

工学博士 安芸 岐一 君



昭和49年度

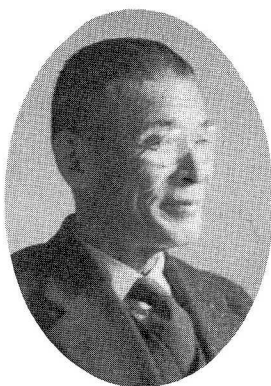
工学博士 米田 正文 君

日本学士院会員



昭和 24 年

故 工学博士 田中 豊君



昭和 25 年

故 工学博士 吉田徳次郎 君



昭和 41 年

工学博士 青木 楠男 君

文化勲章受章者



昭和43年
工学博士 鈴木雅次君



昭和46年
故 農学博士 赤木正雄君



昭和47年
故 工学博士 内田祥三君

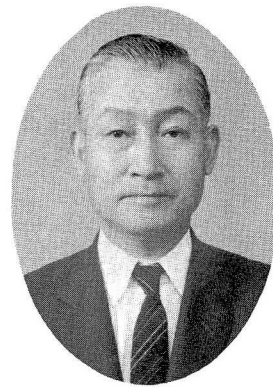
歴代専務理事



第1代
末森猛雄君



第2代
羽田巖君



第3代
下村肇君

故 工学博士 古 市 公 威 氏 筆 蹟

相談今も生
 存の如きは
 身も心も
 三つは海を
 隔てて一丸
 たるに決る
 山は海を隔
 ちて都府を
 隔てて都府
 復た都府を
 隔てて都府
 是れを以て
 是れを以て
 是れを以て
 是れを以て

故古市前会長より生野主事に宛てた書簡

故 工学博士 広 井 勇 氏 筆 蹟

本会創立の経緯
 本会は、明治三十二年、古市公威博士の發起により、
 日本機械学会の前身として、東京府芝罘区に創立せられた。
 創立の目的は、機械技術の進歩を促進し、
 機械技術者の相互の交誼を深め、
 機械技術の普及を期することである。
 創立以来、本会は、機械技術の進歩を促進し、
 機械技術者の相互の交誼を深め、
 機械技術の普及を期することである。
 創立以来、本会は、機械技術の進歩を促進し、
 機械技術者の相互の交誼を深め、
 機械技術の普及を期することである。

本会創立の経緯
 本会は、明治三十二年、古市公威博士の發起により、
 日本機械学会の前身として、東京府芝罘区に創立せられた。
 創立の目的は、機械技術の進歩を促進し、
 機械技術者の相互の交誼を深め、
 機械技術の普及を期することである。
 創立以来、本会は、機械技術の進歩を促進し、
 機械技術者の相互の交誼を深め、
 機械技術の普及を期することである。
 創立以来、本会は、機械技術の進歩を促進し、
 機械技術者の相互の交誼を深め、
 機械技術の普及を期することである。

故工学博士広井勇氏の本会創立に関する記録の筆蹟